

精度確保しつつ簡便さ追求

「道の知恵袋」大日本コンサルタント

大日本コンサルタントの長寿命化修繕計画支援業務の特徴は、橋梁の安全と長寿命化に必要な項目は取りこぼさずに、自治体にとって無理のない持続可能な点検の仕組みから構築を追求する点。

「長寿命化修繕計画の精度は、点検の精度に依存する」（同社保全エンジニアリング研究所・笠井利貴所長）として、予算や人員、時間などの面で悩みを抱える自治体でも、ある程度の精度を確保しながら取り組める仕組みを提案してきた。例えば、点検にメリハリをつける、ボランティアやインハウスの技術者による点検を可能とするしくみ、IT技術の効率的活用で作業とコストの縮減を図るなど。

長寿命化修繕計画は橋梁台帳、点検調書、補修履歴などのデータ蓄積が基本となり、これらの情報を管理し、連携させな

から活用することとなるため、IT設備の負担も自治体にとっては膨らみがち。そこで同社では、自治体がサーバーなどのIT設備を増設せずに、充分なデータ蓄積と活用ができる仕組みを用意した。「道の知恵袋」というもので、インターネットを通じて道路橋の管理を支援する「橋梁データベース」「点検調書作成」「補修補強履歴」「短期修繕計画」「中長期投資計画」など各種システムを提供する総合的なサービスだ。点検から維持管理計画立案まで、共通のデータを利用して一貫した検討、報告書の作成ができる。データの入出力は自治体の職員が無理なくできるよう簡易操作に仕上げられている。

「道の知恵袋」の利用料金はユーザー数に関わらず基本契約料70万円円から、月額管理料5万円円から。